

# 1月の衛研検査情報

～トピックス～

## 横浜市内の蚊成虫生息状況調査結果 —平成28年5～10月—

医動物担当では、健康福祉局蚊媒介感染症ウイルスサーベイランス事業の一環として、主に市内公園において蚊成虫生息状況調査を行っています。蚊媒介感染症は、デング熱、ジカ熱、ウエストナイル熱、チクングニア熱、日本脳炎などがあり、それぞれ主要媒介蚊が異なります。またデング熱は、平成26年8月に、約70年ぶりとなる国内発生がありました。そのため、感染症発生時対策として、平常時より地域特有の蚊成虫生息状況を把握しておくことが必要です。

平成28年は電池式ライトトラップ（CDC型：ドライアイス併用）を用いた蚊成虫捕獲調査と、ヤブカ属の捕獲を目的として捕虫網を用いた人囀（ひとおとり）法（8分間スウィーピング法）による蚊成虫捕獲調査を行いました。捕獲された蚊は調査場所ごとに種類を同定し、雌成虫についてはウイルス検査も行っています。

**主な結果** ライトトラップ法により、市内25か所において捕獲調査を10回（2か所のみ12回）行いました。捕獲された蚊成虫の雌雄合計は、6属11種10,401個体でした。最も多く捕獲された種類は、ヒトスジシマカ8,280個体（79.6%）でした。次いで、アカイエカ群が1,441個体（13.9%）、ヤマトヤブカが226個体（2.2%）、キンパラナガハシカが224個体（2.2%）捕獲されました。

人囀（ひとおとり）法により、山下公園内の6地点において捕獲調査を10回行いました。調査の結果、ヒトスジシマカの雌成虫は114個体、雄成虫は33個体捕獲されました。調査期間を通じて捕獲がみられました。各調査回の捕獲数は、6月から8月は7個体以下と少数でしたが、9月より増加し、10月7日の調査で55個体と最も多くなりました。

ヒトスジシマカのデングウイルス、ジカウイルス、チクングニアウイルス遺伝子検査は、全て陰性でした（その他についてはホームページに掲載する予定です）。

[病原体情報] <http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/idsc/pathogen/>

本編には、コラム「ヒトスジシマカって、冬はどうしているの??？」も掲載しています。

## 衛生研究所WEBページ情報

横浜市衛生研究所WEBページでは、感染症情報、保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報、薬事情報などを提供しています。検査情報月報では、アクセス件数をもとに、どのような情報に関心が寄せられているかを解説しています。



**主な結果** 平成28年12月は、大麻（マリファナ）、旋毛虫感染症（トリヒナ症）、インフルエンザ流行情報、感染性胃腸炎の発生状況に関するページのアクセスが多くみられました。総件数は140,729件でした。



詳しくは横浜市衛生研究所ホームページをご覧ください

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/inspection-inf/>



横浜市衛生研究所では、所内で行われた試験検査などの結果に解説を加えて、毎月、「検査情報月報」として報告しています。